

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国学力調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができている。
- 「書くこと」においては、全国平均を上回ってはいるものの、自分の考えが伝わるように図表やグラフなどを用いて書き表すことに課題がある。

【算数】

- 伴って変わる2つの数量関係について考察することができている。
- 複数のグラフを読み、見出した違いを言葉と数を用いて表現することができている。
- 三角形の面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて説明することに課題がある。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 自分で計画を立てて勉強をする習慣が身に付いている。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして方法を決める力が身に付いている。
- PC・タブレットなどのICT機器の活用に課題がある。
- 友達に優しくしたり困っている人を助けたりなど、他者へ関わる意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数指導の実施
- ・朝タイムにおける基礎計算プリントの取組
- ・全校での授業改善の推進
(学習課題を設定し、課題解決の方法や学習のゴールを明確にした授業)

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・15分の対話を位置付けた授業づくり
- ・条件に即して自分の考えを書く活動の設定

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・学年に応じて、家庭学習の時間の目標を立てさせて取り組む「夢かなえノート」の実施
- ・学級活動における計画的な話し合い活動の設定と決定

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・ミライシードを使った個別の課題に応じた学習や、ICTを生かして交流する活動の設定